

# 別府ツーリズムバレー構想推進協議会 令和7年度第1回総会

---

【開催日時】 令和7年6月30日（月）13:30~15:00

【開催場所】 別府市役所5F大会議室

【参加者】

○委員（14名（うち1名代理））

阿南 寿和、岩崎 友樹、植木 克彦、太神 みどり、神野 康弘、河野 圭史  
樹下 有斗、久留嶋 彰夫、末崎 博樹、中村 恭子 平岡 元庸、宮脇 恵理、  
武藤 純司

（代理）岡田 航洋（立命館アジア太平洋大学）

○事務局等 別府市観光・産業部長、産業政策課長 外4名

【新任委員紹介】 阿南委員、河野委員、久留嶋委員

【議事概要】

1 開会

2 会長選出

- ・ 関谷会長の退任に伴い、新会長の選任
- ・ 委員互選により、新会長に阿南寿和委員を選出

3 議事

（1）第1号議案「令和6年度事業報告について」

<別府ツーリズムバレー構想推進協議会の活動の報告>

- ・ 令和6年5月22日：第1回総会実施
- ・ 令和6年10月17日：事業承継部会実施

<別府ツーリズムバレー構想推進協議会とB-biz LINKの取り組みの報告>

《委員より意見》

- ・ 別府市会社設立支援補助金、登録免許税の軽減はいいと思う。
- ・ ONE BEPPU DREAM AWARDの取り組み、単なるビジネスコンテストではなく、サポート企業としても感銘を受けた。

(2) 第2号議案「令和6年度収支決算報告・会計監査報告」

≪監事より会計監査報告≫

- ・各委員、承認

(3) 第3号議案「令和7年度事業計画（案）について」

(4) 第4号議案「令和7年度収支予算（案）について」

≪事務局長より一括説明≫

≪委員より提案≫

- ・別府ツーリズムバレー構想推進協議会の枠組でなにかイベント等開催できないか。別府市の一大起業イベントみたいなのはできないか？
- ・先々つながるいいアイデアではないか。
- ・年に1, 2回の協議会だとなかなかコミュニケーションも取りづらい、何かできれば有意義ではないか。

<令和7年度事業計画（案）、令和7年度収支予算（案）、各委員承認>

#### 4 意見交換

※別府市及びB-biz LINKの事業取り組みについて、事務局、B-biz LINKより説明

≪事務局より令和7年度別府市新規事業についての一括説明≫

≪各委員より意見≫

- ・ソーシャルスタートアップ成長支援事業補助金について、県内でも空き家+高齢者で事業をとる声はあるが、収益をどう上げていくというのは課題であり、この取り組みを後押ししてみたい。ぜひ、県内の市町村に広まるといいと思う
- ・APU 起業部の支援の枠組を広げていこうというところで、見直しを行っている。学内での起業セミナー、ビジネスコンテストでは資金面やリソース等問題があり、市や皆様にセミナー、ビジネスコンテストの情報の共有をお願いしたい。
- ・IT企業という特性でリモートワーク等も可能なので別府に拠点があれば、Uターン、Iターンの人材が増えるだろう。IT企業という選択肢があればいい。コロナで環境が変わったが、なんとか別府出身、別府に根差して働きたいという人材を増やしたい、労働

力不足といわれているので、地方の人材も活用したい。

- ・生成 AI で仕事がなくなるかもしれないが、別府でしか体験できないこともあるので、この街から何か生まれる、日本の中でのモデルケースになるといい。
- ・色々な意見があるが、定住者を増やしたい。大学があり、産業があり、医療福祉も充実、その結びつきでいろいろできるのでは。どこかがまとめて実行していくようなものがあればいい。
- ・起業、事業を始めるきっかけ、土壌がなかなか整備されていない。そういう思いはあるが、なかなか動いていかない。地元の人が地元の思いを発信してもらいたい。
- ・就職で県外に出ていく流れが止まっていない。キャリアアップを目指す人は外に出ていく、安定を求める人は地元に残る。
- ・思いがあって、戻ってくる人、起業したい人を増やすのも知恵を出してやっていければいい。
- ・産業集積を作るのに、佐賀県のトップが発信をしている、IT、ベンチャー企業が増えていく、そういう動きも必要でないかと思う。
- ・留学生のインターンシップ事業をぜひ活用してほしい、有償のインターンシップで内定をもらい、留学生は就職していく、大分県から委託をうけていて、補助金等もあるので使ってほしい。
- ・留学生は日本の企業を知らないなので、是非留学生にも門戸を開いてほしい。
- ・東京、大阪、福岡での大分県の移住相談会で、ブースを出して外国人の U ターンをすすめている。東京・大阪でバリバリ働いている元留学生で将来別府に住みたいという人が多い。大分ではなく別府。老後を過ごしたい、子育てをしたいという留学生（外国人）に転職するなら別府でというところで、仕事を紹介したい。皆様のご協力を仰ぎたい。
- ・地域振興、観光振興などいろいろなものを整理して、ツーリズムバレー構想の中で、そ

それぞれの事業のカテゴリーの中で、少なくとも委員それぞれが何をやっているか、いろいろな事業をどこで結び付けていくか、情報整理が必要。

- ・商店街のアーケードがなくなり、「名もなき道」になった感がある。中心街の活性化、若者と町を混ぜるのは大切で、1階に店舗、2階に住居がある昔ながらの暮らしと高校生、マルシェ、ファッションショー、ワークショップやチャレンジショップなどで、ぱっと見古い商店街でなく歴史や面白みがあって、伝統文化を引き継いでいくことが大事。取り組みにかかわっていただける人が増えたらと思う。
- ・ソーシャルスタートアップ成長支援事業補助金の取り組みは素晴らしい。開業の時は資金が必要で、こういう情報をどれだけ知っているのかがすごく大事。
- ・地元には素晴らしい企業があるので、高校生に知る機会を設けたい。各企業の取り組みをどのように取りまとめているのかが大事。
- ・創業支援セミナーは、How To の部分をレクチャー。ONE BEPPU DREAM AWARD はアントレプレナーシップ、誰のために何をして、なぜあなたがそうして、どんな世界を作っていくのかといったところを、徹底的に言語化というところをやらせていただいている。同じように見えて若干違う。協議会を通じてさらに連携を深めていけば、別府の素晴らしい人材の発掘と育成につながるのではないか。起業家と人脈と情報のハブになりたい。
- ・アーティストやクリエイター、何か新しいものづくり価値を作ろうとする人たちの移住、定住のプログラムの窓口を開設している、定住とまではいなくても、プレイヤーは確実に増えてきている、別府で何かやっているらしいと、海外からの問い合わせがとても多い。
- ・ニッチな価値を探している人が多い、多様化、細分化している。
- ・会議だけではなくて、もう少し実践を伴った何かが一緒にできるとうれしいなと思う。

- ・この協議会のように、ネットワークを通じて、顔をみた状態で、知り合うことはとても大事。
- ・別府ツーリズムバレー構想推進協議会の中で、連携を組むことで新しいものが生まれるのではないかという期待感を持っている。
- ・大学があり、学生の創業もあり、観光、温泉、知名度もあり、ポテンシャルの塊。

**【閉会】**